



誰もがものづくりで起業できる時代のサプリ

平成 24 年に出版された「MAKERS 2 1 世紀の産業革命が始まる」（クリス・アンダーソン著，NHK 出版）では，3D プリンターを活用することで誰もがものづくりで起業できる世の中が来ることが明言され，その後の 3D プリンターはブームに乗るように普及していきました。

また，金融機関ではなく，個人から資金を集めるクラウドファンディング等の普及により，個人でも資金を調達することが以前に比べて容易になるなど，いままでのものづくりのプロセスでは考えられない短期間で製品（主に IoT 機器）を市場に流通させることも可能となりました。

しかし，こうした「ものづくり（ハードウェア）ベンチャー」が事業化に成功するためには，製品アイデアや資金調達に加えて，量産化に向けた技術面のノウハウが不可欠です。

こうしたことを踏まえ，平成 29 年 9 月 1 日，民間企業等と共同でものづくりベンチャーの事業化支援等を行う拠点「Kyoto Makers Garage（キョウトメイカーズガレージ，以下「KMG」という。）」を開設しました。

全国から野菜や鮮魚等を載せたトラックが集まる京都中央市場のすぐ近くにある KMG には，アイデアを形にする創造の場として，3D プリンター等の試作機器を配備したものづくりスペースの運営を行うほか，起業希望者，個人事業者等の多様な人々が活動・交流できるコワーキングスペース（※ 53 ページ参照）があり，簡素でありながら，創造的な雰囲気があります。

ここでは，国内外のものづくりベンチャーや起業家を京都に呼び込み，高い技術をもつ市内中小企業とのマッチングや企画・設計から量産までの一貫した支援が展開されています。

また，次代の京都経済をリードするベンチャー企業の発掘・育成にも注力しており，「Monozukuri Meet Up Cafe」等の事業を通じて，国内外の起業家，ベンチャーキャピタルを招聘し，セミナーや座談会を実施。京都のものづくり企業や学生等との交流も促進しています。



Monozukuri Meet Up Cafe の様子

誰もがものづくりで事業化できる時代だからこそ，KMG が多くのものづくりベンチャーを生み出すサプリのような役割となって，ここから未来の京都経済を担う企業が羽ばたいていくことを期待しています。